

農山漁村地域整備計事前評価調書

| | | |
|-------|--------|--|
| 計画の概要 | 計画の名称 | 大分県農山漁村地域整備計画(3期) |
| | 計画策定主体 | 大分県 |
| | 対象市町村 | 大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町、姫島村 |
| | 計画期間 | 令和3年度～令和7年度(5年間) |
| | 計画の目標 | 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現と安心して暮らしていける魅力ある農山漁村づくり |
| | 評価指標 | 別添「農山漁村地域整備計画」のとおり |
| | 対象事業 | 別添「農山漁村地域整備計画の対象事業」のとおり |
| | 全体事業費 | 26,158,948 千円 |

| 項目 | | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|------|---|---|---|--------------------|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | | 別紙 事業箇所の評価(個表)のとおり |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | | |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | | |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | | |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | | |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | | |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | | |
| 評価結果 | 評価 Ⅰ 事業を実施 評価 Ⅱ 計画の見直し | | 【評価基準】 「評価Ⅰ」は全項目に○印がついている 「評価Ⅱ」は1項目でも×印がついている | |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農地整備(農地整備事業、農業基盤整備促進事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、担い手への農地利用集積集約率等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 土地改良法に基づき、地元受益者の申請を経て行う事業、また地元要望を踏まえ市町村の申請により行う事業であり、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農地整備(農地整備事業(通作条件整備))

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」「大分県地域防災計画」及び「大分県地域強靱化計画」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」等に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に走行時間の短縮等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 土地改良法に基づき、地元受益者の申請を経て行う事業、または管理者である市町村の申請により行う事業であり、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称; 農地整備(実施計画策定事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応した目標となっている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 計画策定したハード事業の各地区ごとに策定される農用地利用集積促進土地改良整備計画または農業生産法人育成土地改良整備計画を踏まえた目標となっている。 |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 効率的で持続性のある生産体制の確立に寄与する指標となっており、整備計画との整合がとれている。 |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 計画策定したハード事業完了時に、担い手への農地利利用集積率を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 計画策定したハード事業実施により整備した生産基盤が、どれだけ効率的かつ安定的な経営体に活用されているかを量る指標となっており、効果を評価する適切な指標となっている。 |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 計画策定したハード事業は、土地改良法に基づき、地元受益者の申請を経て行う事業であるため、事業実施に問題はない |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 計画策定したハード事業は、県内ほぼ全域で事業実績がある。また、地区採択前に本事業で技術的に可能か判断する。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農地整備(草地畜産基盤整備事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 大分県酪農・肉用牛生産近代化計画との整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 整備計画の目標達成に寄与する指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了後、事業実施区域における牧草の増収や牧養力の向上により、指標の評価が可能である |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 草地畜産基盤整備事業の実施により発現する効果を検証し、反映する指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 事業執行にあたり事前に関係者説明を行い、同意を得ているため、事業実施に問題はない |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 近傍地域での施工実績を踏まえ、技術指針等に準拠しており妥当なものとなっている |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 水利施設整備(水利施設等整備事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」「大分県地域強靱化計画」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」等に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、被害の未然防止や軽減が図られた面積等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 地元要望を踏まえ市町村の申請により行う事業であり、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 水利施設整備(水利施設等整備事業のうち畑地帯総合整備中山間地域型)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、畑地かんがい等により用水供給を確保した面積を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 土地改良法に基づき、地元受益者の申請を経て行う事業であり、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農地防災(農地防災事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」「大分県地域防災計画」及び「大分県地域強靱化計画」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」等に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、湛水被害の防止等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 土地改良法に基づき、地元受益者の申請を経て行う事業であり、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農村整備(農村集落基盤再編・整備事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」等に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に生活環境改善箇所数等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 関係者からの同意を得ているとともに関係市とも協議ができており、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農村整備(農業集落排水事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 大分県生活排水処理施設整備構想との整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 地域の実情に応じた効率的な生活排水処理施設整備に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 整備計画の目標達成に寄与する指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了後に改築更新の結果を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 生活排水処理施設整備の実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 地域からの要望を受け、関係市町長が申請・実施する事業であることから、円滑な事業執行が期待できる |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 既に確立されている技術での施工であることから、技術的に問題はない |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 農村整備(農道整備事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」「大分県地域防災計画」及び「大分県地域強靱化計画」との整合が図られている。 |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」等に対応しており、地域の課題を踏まえた目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 計画の目標の達成状況を判断できる指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、走行時間の短縮等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 土地改良法に基づき、地元受益者の申請を経て行う事業であり、事業実施の環境は整っている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 標準的な内容の事業で技術的に問題ない。 |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称; 森林整備事業(育成林整備事業、林道改良事業、林道点検診断・保全整備事業、山のみち地域づくり交付金事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 大分県地域森林計画及び森林基盤整備事業計画との整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 整備計画の目標達成に寄与する指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、路網密度の増加が図られているか確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 地元要望によって行う事業であり、市町村長が作成する市町村森林整備計画を反映した事業でもあるので事業実施に問題ない |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 地形等及び環境に配慮した設計・施工となっており、技術的に問題ない |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称: 治山事業(予防治山事業、治山施設機能強化事業、林地荒廃防止事業、山地防災力強化総合対策事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 森林整備保全事業計画に定める事業の目標と整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「大分県地域強靱化年次計画2020」に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 「大分県地域強靱化年次計画2020」の目標と整合性がとれる定量的指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、危険地区の整備が図られているか確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 治山事業として、整備した施設等による効果が指標となっている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 地域に山地災害防止の機運が高く、関係者の理解と同意が得られている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 地形・地質・地理及び環境配慮に対して個別の事業が技術的に可能である |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 水産物供給基盤整備事業(地域水産物供給基盤整備事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|-------------------------------------|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 漁港漁場整備長期計画に定める目標と整合性がとれている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 大分県の水産基盤の整備を図る指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、漁港の整備が図られているか確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 漁港の整備による効果が指標となっている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 地元要望によって行う事業でもあり、地元市町村の費用負担も了解を得ている |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 漁港施設の標準的な新設及び改良であるため、技術的に問題はなし |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称： 漁港漁村環境整備事業(漁業集落環境整備事業)

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|---|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 大分県生活排水処理施設整備構想との整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 地域の実情に応じた効率的な生活排水処理施設整備に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 整備計画の目標達成に寄与する指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了後に改築更新の結果を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 生活排水処理施設整備の実施により発現する効果を指標としている |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 地域からの要望を受け、関係市町村長が実施する事業であることから、円滑な事業執行が期待できる |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 既に確立されている技術での施工であることから、技術的に問題はない |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称; 海岸保全施設整備事業

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「大分県海岸保全基本計画書」との整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 農村・漁村集落の防災対策を推進する指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、浸水被害の防止が図られているか等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により、農村・漁村の防災効果を評価するための指標として適切なものである |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 過去に被災した箇所の対策事業や地元要望で行う事業であるため、事業実施に問題は無い |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 海岸保全施設の標準的な新設・改良・補修であるため、技術的に問題は無い |

農山漁村地域整備計画に係る事前評価(個表)

対象事業

事業の名称; 海岸保全施設整備事業

| | 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|----|-------------|---|----|--|
| 評価 | 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 大分県海岸保全基本計画書との整合が図られている |
| | | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 「おおいた農林水産業活力創出プラン2015」に対応した目標となっている |
| | 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 農村・漁村集落の防災対策を推進する指標となっている |
| | | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 事業完了時に、浸水被害の防止が図られているか等を確認できる |
| | | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか | ○ | 事業実施により、農村・漁村の防災効果を評価するための指標として適切なものである |
| | 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整い、地元の機運が醸成されているか | ○ | 過去に被災した箇所の対策事業や地元要望で行う事業であるため、事業実施に問題は無い |
| | | 2 事業実施が技術的に可能であるか | ○ | 海岸保全施設の標準的な新設・改良・補修であるため、技術的に問題は無い |